



特集 「世界と日本の教会のジェンダー意識」

「ジェンダー」（社会的性別役割）という言葉が最近頻りに耳にするようになりました。この言葉の登場は、「すべての人はひとしく神の子である」というイエスのメッセージの実現に向かう私たちを、新たな光で照らします。今年2023年の全国会議は「世界と日本の教会のジェンダー意識」をテーマに、3月3日、4日、ハイブリッド形式で開催しました。

日本カトリック正義と平和協議会2023年全国会議 公開講演会 要約

■ 弘田しずえ（日本カトリック正義と平和協議会専門委員、ベリス・メルセス宣教修道女会会員）

カトリック教会は、1965年、第二バチカン公会議において「社会的差別であれ、文化的差別であれ、あるいは性別・人種・皮膚の色・地

位・言語・宗教に基づく差別であれ、基本的人権に関するすべての差別は神の意図に反するものであり、克服され、排除されなければならない